

石川県河北潟で捕獲されたカミツキガメ

野田英樹・大井 毅

いしかわ動物園

〒 923-1222 石川県能美市徳山町 600

要約：2016年5月21日に、河北潟東部承水路付近で特定外来生物であるカミツキガメ *Chelydra serpentina* が発見された。該当個体は安楽死処置の後、いしかわ動物園に搬入され、計測および解剖が行なわれた。計測と解剖の結果、ホクベイカミツキガメ *Chelydra serpentina serpentina* の雌であることが確認された。体内からは約85個の卵胞が確認された。

キーワード：石川県、河北潟、カミツキガメ、*Chelydra serpentina*、特定外来生物

はじめに

カミツキガメ *Chelydra serpentina* は北米原産の淡水ガメで、最大甲長が49 cmに達する大型種である。昭和初期に展示用として、後にペット用として大量に日本に輸入され始め、ペットショップやホームセンターで簡単に手に入る生物であった(安川, 2003)。しかしながら、日本在来であるニホンイシガメ *Mauremys japonica* や、クサガメ *Mauremys reevesii* (江戸時代に移入したとの説がある) と異なり性格が獐猛で、遺棄される事例が相次いだ。日本の生態系に悪影響を与える恐れがあるとともに、顎の力が強くかまれると人的被害が生じることから、2005年に特定外来生物に指定され、輸入や飼育、繁殖が原則として禁止されている。規制以前より飼育しているものは許可を受けることで継続飼育が可能であるが、いわゆる闇飼育されていたものが遺棄され、事件となることがある。

日本では千葉県や静岡県で定着が確認されており(千葉県, 2011; 加藤・衛藤, 2012)、積極的な駆除も始まっている(千葉県, 2011)。石川県は太平洋側の地域とくらべ人口が少なく、それゆえカメ飼育者の絶対的な数も少ないため、カミツキガメが遺棄される頻度は低いと考えられる。遺棄されたカミツキガメがすべて越冬できるとも考えられず、現在の所石川県には定着していない。しかしながら時折カミツキガメが発見され、新聞などで報道されている。おそらく大多数の個体が遺棄から時間をおかず

に発見されているものと推測されるが、河北潟などの自然度の高いエリアに遺棄された場合、人目につかずに生き延びる可能性がある。また、それが交尾済みのメスであったならば、翌年には多数の子ガメの孵化につながる。飼育個体が少数遺棄された場合と異なり、多くの子ガメが生まれながら日本の環境で育つことにより、適応力の高い一部の個体が定着し、更に繁殖につながる恐れがある。そのため、時折発見されるカミツキガメの性別や成熟具合などの情報を詳細に記録しておくことは、今後のカミツキガメ出現の予測などに有効であると考えられる。

カミツキガメ発見の経緯

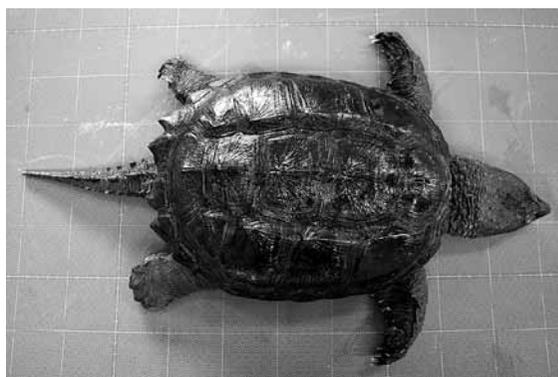
2016年5月21日に、石川県津幡町湖東町で、道路にいるカミツキガメが市民に発見された。たまたま第一発見者がカミツキガメに関する知識を有していたため、この個体は警察署に届けられた。冷凍による安楽死処置後、石川県自然環境課を通じていしかわ動物園に搬入され、2016年6月17日に計測および解剖が行なわれた。

同定と解剖の結果

今回持ち込まれたカミツキガメは、背甲長238.4 mm、腹甲長108.5 mm、最大甲幅202.9 mm、最大甲高108.4 mm、腹甲前部95 mm、第3椎甲板幅73.8 mm、体重3600 gであった(図1, 表1)。甲

表1. 2016年6月に河北潟で捕獲されたカミツキガメの計測値.

計測項目	計測値
背甲長	238.4 mm
腹甲長	180.5 mm
甲幅	202.9 mm
甲高	108.4 mm
腹甲前部	95.0 mm
第3椎甲板幅	73.8 mm
体重	3600 g

図1. 2016年5月21日に河北潟で捕獲されたホクベイカミツキガメ *Chelydra serpentina serpentina*.

長に対する腹甲前葉長の割合が40%未満であることから、亜種ホクベイカミツキガメ *Chelydra serpentina serpentina* であると同定された (Anthony *et al.*, 2008). 剖検により、卵胞が確認されたため、雌であると判明した。卵胞の数は約85個であった (図2)。胃内容物は認められなかった。

考察

今回捕獲されたカミツキガメは雌であり、抱卵が確認された。この卵が有精卵であったか否かは分からないが、カメ類は貯精することが知られており、過去数年以内にオスと接触していた場合は、有精卵であった可能性がある。また、カメ類は年間複数クラッチ産卵することがあるため、今回の卵胞が第2クラッチ以降であった場合、すでに河北潟周辺で産卵済みであった可能性がある。

捕獲以前に産卵していた場合に備え、2016年7月から10月にかけて緊急的にカミツキガメ捕獲地点に近い東部承水路にベイトトラップを仕掛け、幼体もしくは他のカミツキガメ個体の捕獲を試みた。その結果幸いなことに新たなカミツキガメは捕獲されなかった。しかしながら孵化直後の子ガメはベイトトラップで捕獲されにくいことや、周辺には広く葦原が広がっていることを考慮すると、捕獲されずに子ガメや新たなカミツキガメが潜んでいる可能性は否定できない。

今回の個体は、第一発見者がカミツキガメについて知識を有する市民であったことにより、野外から



図2. カミツキガメの腹腔内の様子。約85個の卵胞が確認された。

取り除くことに成功した。しかしながら、カミツキガメを他のカメと区別することのできる市民は多いとはいえない。今後、特定外来生物であるカミツキガメについて、さらに啓発していく必要があると考えられる。また、今回の捕獲地点周辺では今後カミツキガメが捕獲される恐れがあるため、引き続き捕獲調査を実施していくことが大切である。

謝辞

カミツキガメの同定にあたり、静岡大学の加藤英明博士にご助言いただきました。厚く御礼申し上げます。

引用文献

- Anthony C. S., Michael S. F., and Ronald J. B.
2008. Biology of the snapping turtle (*Chelydra serpentina*). The Johns Hopkins University Press.
Maryland. 225p.
- 千葉県. 2011. 千葉県におけるカミツキガメ防除実施計画書. <http://www.bdcchiba.jp/alien/kamitsuki/boujyo-keikaku.pdf>.
- 加藤英明・衛藤英男. 2012. 静岡県狩野川水系におけるカミツキガメ *Chelydra serpentina* (Testudines, Chelidridae) の定着. 東海自然誌(静岡県自然誌研究報告). 5 : 41-44.
- 安川雄一郎. 2003. カミツキガメ科の分類と自然誌(前編). クリーパー. No.18 : 10-21, 42-44.